NTJU News

発行所：ヌヴォトン テクノロジージャパン労働組合
住　所：京都府長岡京市神足焼町1番地
発行人：山本　明広　　編集人：二川　智之

【運動スローガン】
新たな「結」「絆」を築く

2020-No.01
2020年11月 9日

2020年12月1日付 ヌヴォトンテクノロジージャパン（株）組織体制について

2020年11月4日（水）、「ヌヴォトンテクノロジージャパン（株）組織体制について」の諮問申し入れを受けました。
その内容および現時点での労組スタンスを報告しますので、職場からの意見をお願いします。

申し入れ内容（要旨）

ヌヴォトンテクノロジージャパン株式会社（以下NTCJ）は、2020年9月に発足し、自社製品の提供を通じて、世界中の人々の生活の充実や社会産業の繁栄に向けた努力を続ける企業を目指し、新たにスタートを切りました。我々は、グローバルな半導体専業メーカとしてのNTCJが今後どの様に持続的に発展していくかについての姿を早期に描ききり、実現していかなければなりません。

新たな思考でお客様の期待を超える製品・サービスを提供し続け、人に寄り添い、社会・産業や人々のくらしにおける様々な課題を解決できる企業になるべく、「新しい会社を全員で創る」ための「100日プロジェクト」の活動を9月に開始し、「経営基盤の革新」「ビジネスの強化」「新たな経営理念の確立」に取り組んでおります。「経営基盤の革新」では、これまでのしがらみを捨てて、グローバル半導体専業メーカに適した経営基盤を一から創り上げる活動、「ビジネス強化」については、商品戦略の構築や新たなマーケティング体制の構築、Winbond・Nuvoton社とのコラボの施策などを具現化するための活動、また、「新たな経営理念の確立」では、NTCJの経営理念を実践できる人づくりを行うための新たな人材育成体系、研修体系の構築に向けた活動に全力で取り組んでいるところです。

今後ますます激しくなる環境変化の中、持続的な成長を目指す上で、我々は常に変化する市場に素早く対応し、的確にお客様と向き合い、積極果敢に新たな挑戦を進め、新しい事業を生み出していかなければなりません。

これらを踏まえ、ビジネスモデルに応じた最適なマネジメントによる事業運営で効率の最大化と持続的な事業成長を図るべく、今回、現半導体ビジネスユニットを解消し、商品群別ビジネスグループ（以下BG）体制に再編します。また、全てのBGにマーケティング機能を設け、各BGが独立して戦略を立て、事業を推進していく体制に移行します。

具体的には、空間認識・電池応用領域を商品ビジネスモデルに応じて再編し、ビジネスモデル（コンポーネント型、ソリューション型、テクノロジー類型）の類似商品を群で運営することにより、群として投資や在庫管理などを行うことで事業運営効率の最大化を図ります。各BGは、NTCJの成長の牽引を担うとともに、事業・収支責任を負う組織とし、関連部門は、各BGの事業を支え、BGの事業推進の効率化の責を担う組織とし、4つのBGとこれらBGの製造責任を担う1センター、事業最大・効率化を図る2センターと3つの部体制に再編します。また、直轄にNTCJ全体に関わる業務、推進機能を持つ4つの組織を設置します。

(1)BG体制について

商品群別に個々のマーケティング、商品企画、商品開発、技術サポート、投資、価格、在庫管理を行うBGを設置

1)コンポーネントBG
・TMOS、高出力レーザ、RF－GaN等
2)センシングBG
・TOF、Imaging LiDAR、DSP、ISP等
3)バッテリーアプリケーションBG
・電池監視IC、Motor driver等
4)セキュアBG
・微細ReRAM、セキュアIC、MCU，高速IF等

(2)センター総括部等の体制について

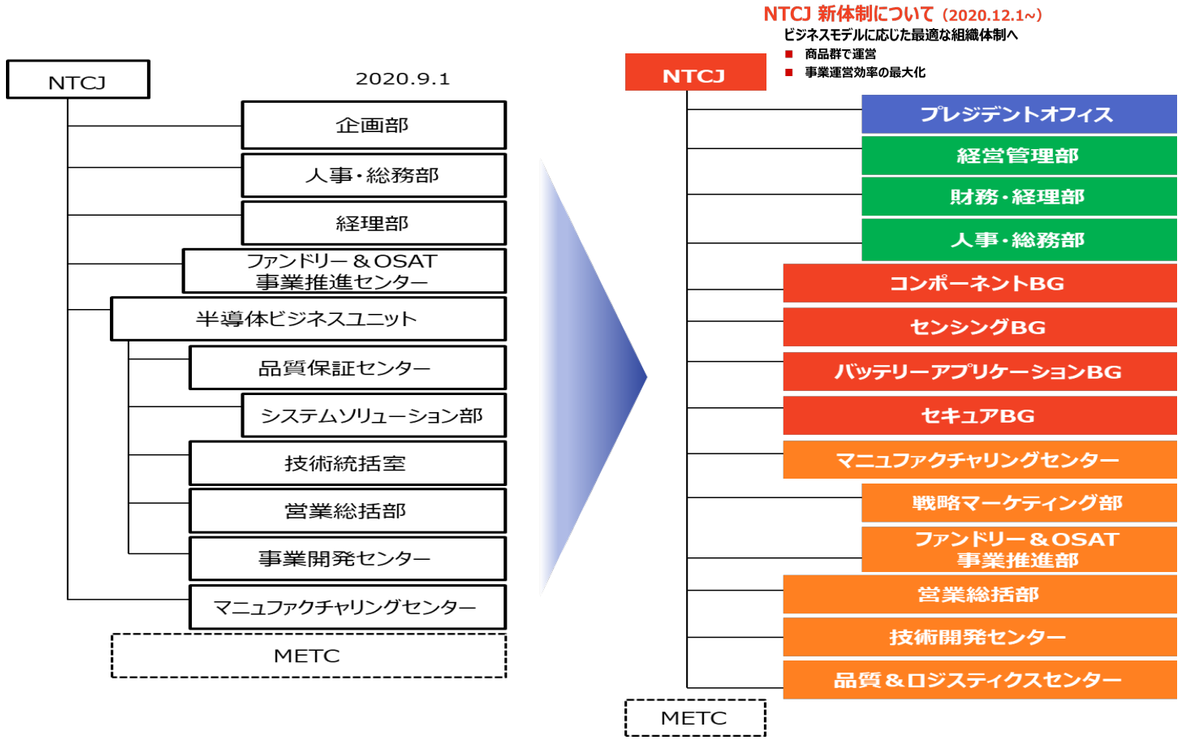
各BGの事業を支え、BG事業推進の効率化の責を担う組織として下記組織に再編

1)マニュファクチャリングセンター
・製造運営責任を負い、先行プロセス開発、PKG開発、BGからの受託生産、製造/委託コストの低減等を行う
2)営業総括部
・販売計画/管理、アカウント営業、再販営業、代理店施策等を行い、販売の最大化、効率化を推進する
3)戦略マーケティング部
・市場調査、BG横断戦略マーケティング、新規ビジネス創出・技術ソリューション立案等を行い、各BGの事業最大化、効率化を推進する
4)品質＆ロジスティクスセンター
・商品の信頼性確立、品質管理、生産管理、調達等を行い、NTCJ全体の品質責任を担う
5)技術開発センター
・技術ロードマップ策定、EDA/共通技術開発等を行い、各BGの事業最大化、効率化を推進する
6)ファンドリー＆OSAT事業推進部
・ファンドリー＆OSAT事業の収支管理・運営を行う

(3)直轄グループの体制について

NTCJ全体に関わる業務、推進機能を持つ下記組織を設置

1)プレジデントオフィス
・新経営基盤（インフラ含む）の設計、NTCとのインテグレーション推進等
2)経営管理部
・経営管理/改善、IT、法務・知財、ISM・CSR等の機能を担い、NTCJ全体の戦略と統制
3)財務・経理部
・NTCJのファイナンス戦略構築、経営管理、財務管理を行う
4)人事・総務部
・NTCJの人材開発/確保、採用、人事制度の企画・立案、労務管理を行う



現時点におけるNTJUとしてのスタンス

今回の申し入れは、「新生NTCJの挑戦」と「新たな経営理念」を実践するための体制変更であり、その大義を全職場内で共有することが重要と考えます。

体制変更の狙いは、ビジネスモデル毎の4つの商品群別BG体制へ移行することで、事業運営効率の最大化を図ることであり、さらに関連部門は、各BGの事業を横断的に支える機能として再編し、事業を加速するものであると認識します。

一方で、現体制における課題を解決するとともに新体制移行後に想定される課題を職場で抽出し、スピード感をもって未来志向で改善していくことが必要と考えます。

今回の新体制移行を事業成長に向けたものとすべく、本諮問内容を理解され職場内で徹底した論議をお願いします。

スケジュール

11月4日		会社説明		意見収集		11月末		12月1日
申し入れ	⇨	職 懇 等	⇨	職 場 会	⇨	意見書	⇨	新体制発足